科目名	25. 生活行動がしづらいからだⅣ 食べて出す				
履修年次	1年次	科目区分	専門基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	個体の維持に必要不可欠な物質の供給と排泄のしくみが障害された場合に起こるからだの反応と治療過程を理解することができる。また、それらが生活行動に及ぼす影響を理解することができる				
到達目標	人のからだに関心をもちながら、生活行動の原動力となる食べて出すしくみの障害とそれを整えるための方法について説明でき、生活行動への影響について表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　消化器　成人看護学⑤　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　腎・泌尿器　成人看護学⑧　医学書院				
参考文献	看護形態機能学　生活行動からみるからだ　日本看護協会出版会				
教育方法と学生への期待 (求めること)	よりよい看護を実践するためには疾患の病態生理や治療について知識を有していることが必須です。ここでは、「食べる」「トイレに行く」という日常生活行動に関連する消化器機能、腎泌尿器機能が障害された場合に起こる症状および疾病のメカニズム、診断に用いる検査や治療・処置などについて理解し、生活行動に及ぼす影響を考えて欲しい。 受講にあたっては、教科書での予習・各回の講義の復習を十分行うこと。『生活行動から見るからだ』『病気の原因と回復過程』の復習をして講義に臨み、理解を深めて欲しい。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	『食べる』が障害された時の症状	嚥下困難、おくび・胸やけ、吐き気・嘔吐、腹痛、吐血・下血、下痢、便秘、腹部膨満、食欲不振と体重減少、腹水、黄疸、肝性脳症	講義
2	胃に食べ物を運搬する障害	食道：食道がん、胃食道逆流症の病態生理・診断と検査・治療	講義
3	消化と吸収の障害	胃・十二指腸：胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんの病態生理・診断と検査・治療	講義
4	便の通り道の障害①	炎症疾患：腸炎、腹膜炎、虫垂炎の病態生理・診断と検査・治療 機能疾患：腸閉塞、ヘルニア、消化管憩室の病態生理・診断と検査・治療	講義

5	便の通り道の障害②	肛門周囲：痔核、痔瘻、直腸脱の病態生理・診断と検査・治療 腫瘍：大腸がんの病態生理・診断と検査・治療	講義
6	消化・吸収を助ける障害①	胆嚢：胆石症、胆管炎、胆嚢・胆管がんの病態生理・診断と検査・治療	講義
7	消化・吸収を助ける障害②	膵臓：膵炎、膵がんの病態生理・診断と検査・治療	講義
8	栄養の貯蔵と代謝の障害	肝臓：肝炎、肝硬変、肝がんの病態生理・診断と検査・治療	講義
9	尿をつくる・出すが障害された時の症状	尿の異常、浮腫、脱水、畜尿症状、排尿症状、尿閉、尿毒症	講義
10	『尿をつくる』の障害①	腎臓：腎不全の病態生理・診断と検査・治療	講義
11	『尿をつくる』の障害② 他の疾患による腎障害	腎臓：ネフローゼ症候群、糸球体腎炎の病態生理・診断と検査・治療 膠原病による腎障害の病態生理・診断と検査・治療	講義
12	尿路の障害	炎症：腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎の病態生理・診断と検査・治療 通過機能障害：水腎症、神経因性膀胱、尿失禁、前立腺肥大、結石症の病態生理・診断と検査・治療	講義
13	尿をつくる・出すの障害 男性性機能障害	腫瘍：腎細胞がん、腎盂がん、膀胱がん、前立腺がん 男性不妊：ED	講義
14	『食べる』が障害された	嘔気・嘔吐があると生活の何がしづらくなる？	演習
15	尿をつくる・出すが障害された	浮腫があると生活の何がしづらくなる？	演習